

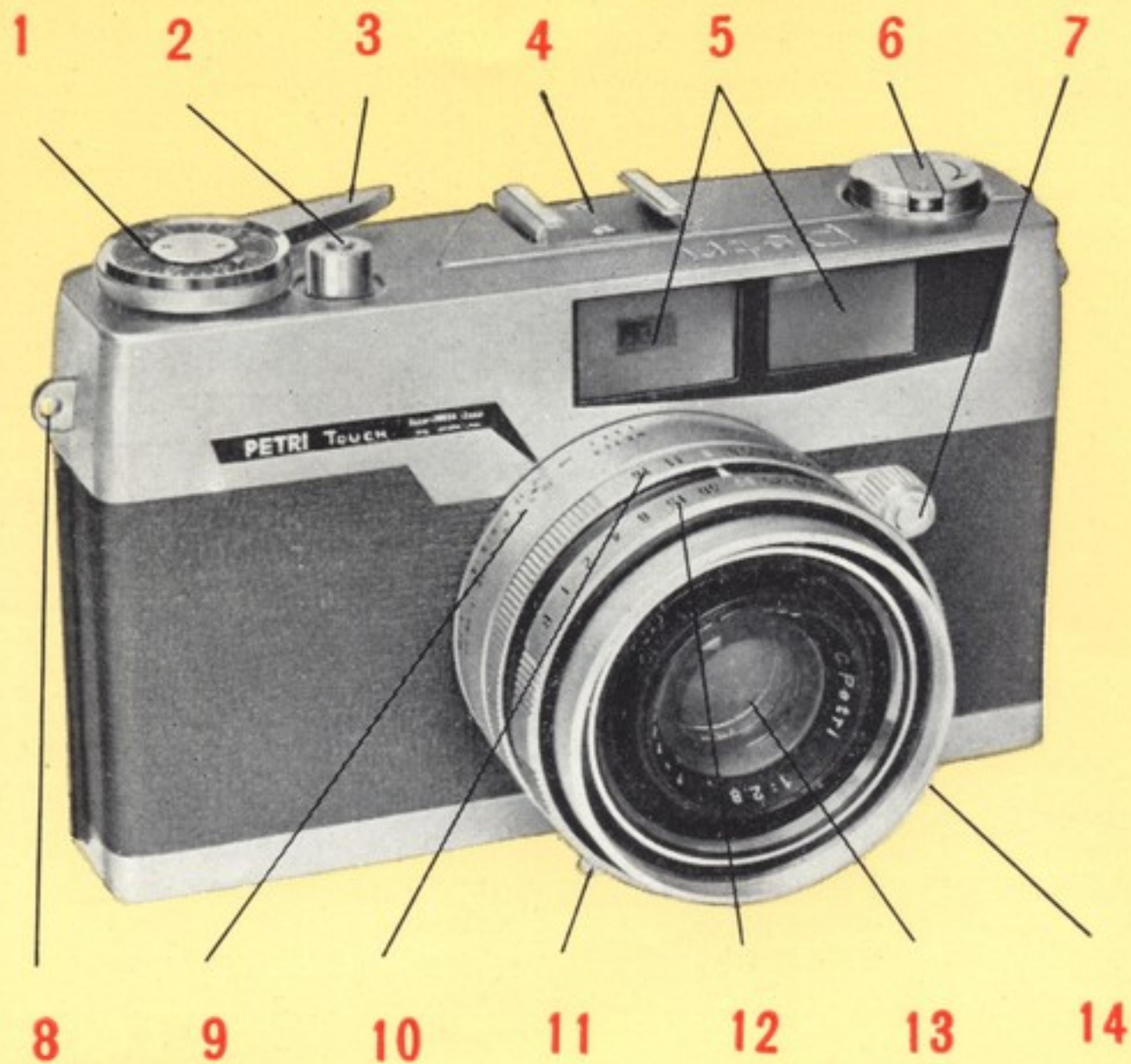
PETRI

TOUCH

777



INSTRUCTION BOOK

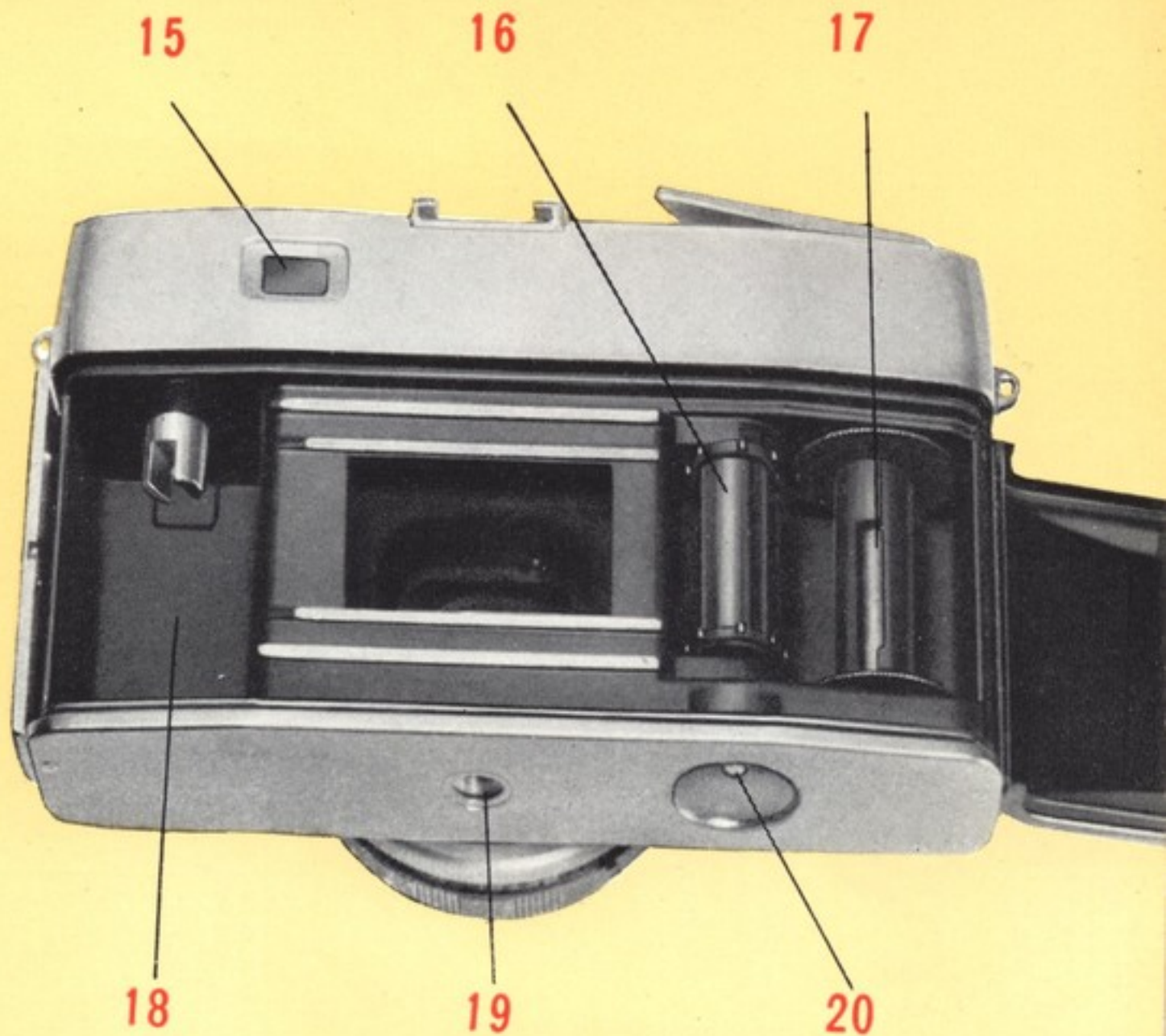


各部の名称

1. フィルム枚数計
2. シャッターボタン
3. フィルム巻上げレバー
4. アクセサリーシュー
5. 距離計ファインダー窓
ブルー・マジック・スコープ
6. 巻戻しクランク
7. フォーカシングレバー
8. 吊環
9. 距離目盛
10. 絞り目盛



11. セルフタイマーレバー
12. シャッター速度目盛
13. ペトリF 2.8 45ミリ
14. シンクロターミナル
15. アイピース
16. スプロケット
17. 巻取りスプール
18. パトローネボックス
19. 三脚穴
20. リターンボタン



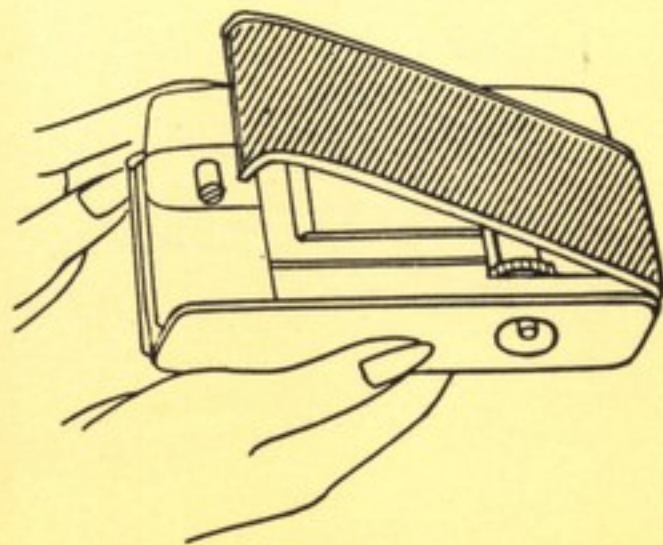
フィルム

の

入れ方

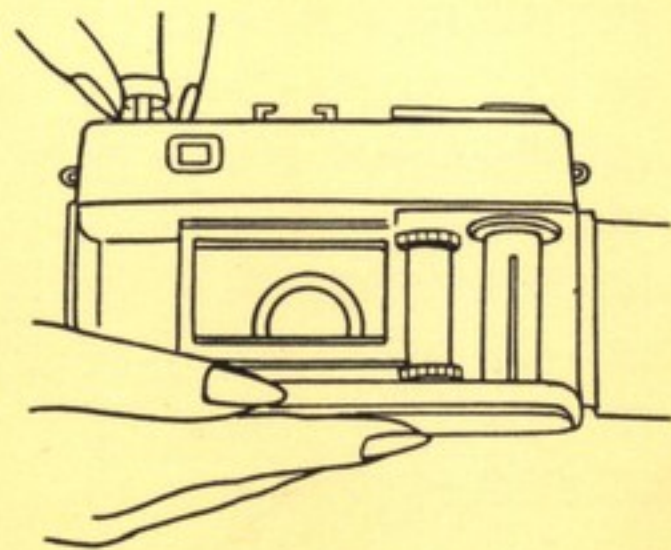
裏蓋をあける

カメラ側面の裏蓋開閉レバーに爪をかけて引くと、裏蓋がスプリングの力で開きます。



巻戻しクランクを引き出す

巻戻しクランクをつまんで、止まるところまで引き出します。これでパトローネボックスにフィルムをおさめることができるわけです。



フィルムの先端をスプールの溝にさしこむ

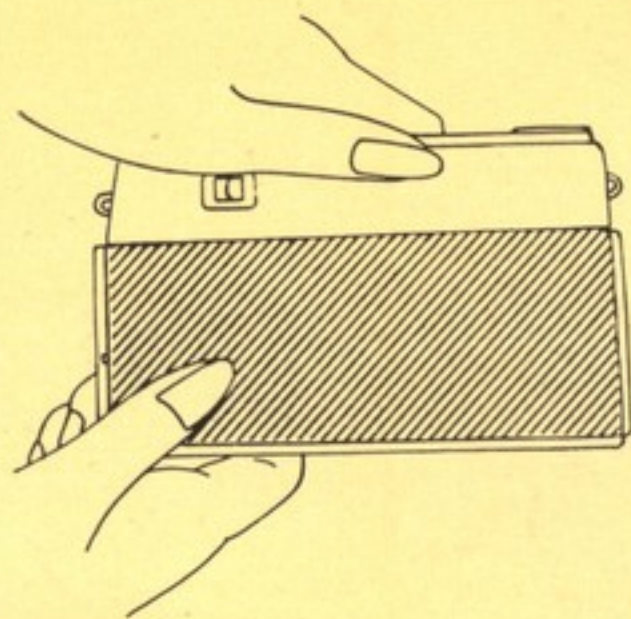
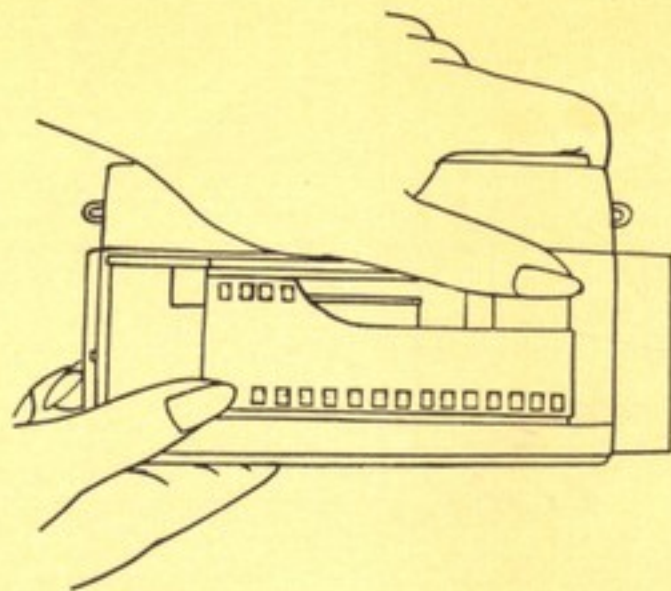
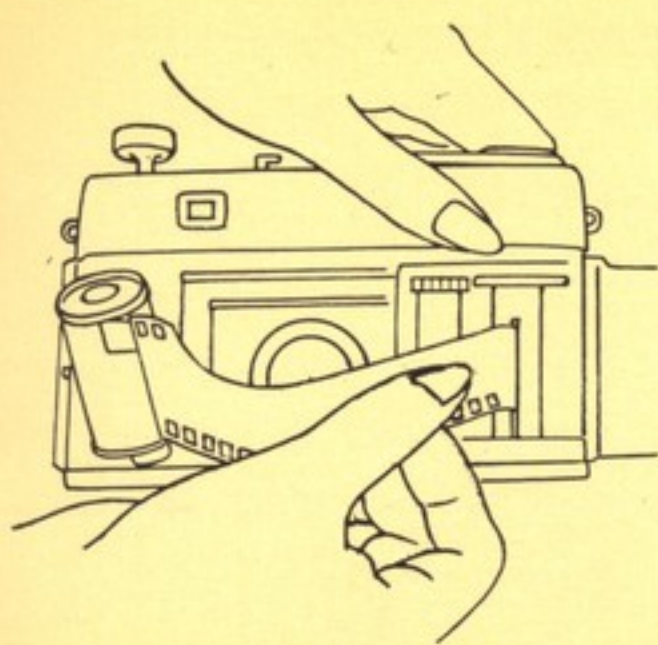
フィルムの先端を巻取りスプールの溝にさしこみ、パーフォレーション（フィルムの爪孔）を、溝の突起にひっかけます。

フィルムを少し巻取る

フィルムをバトローネボックスにおさめたら、巻取りスプールのツバに指をかけて回し、フィルムを巻取ってみます。パーフォレーションをスプロケットの歯に完全にかみ合わせてください。

裏蓋を閉める

巻戻しクランクを元に戻し、フィルムが正しく装てんされているか十分に確認した上で裏蓋を閉めます。裏蓋はとじて押せばパチンと自動的に閉まります。

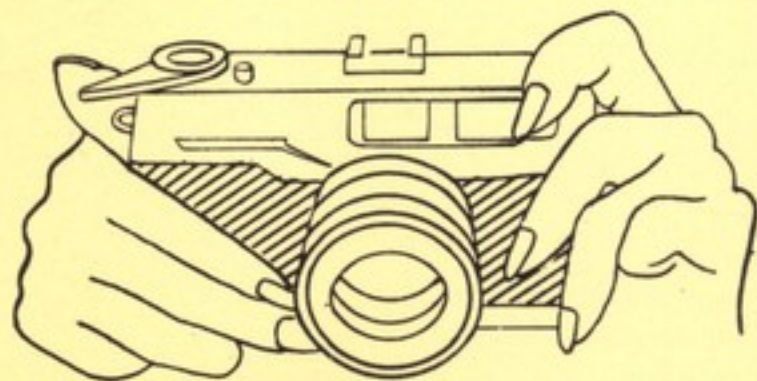
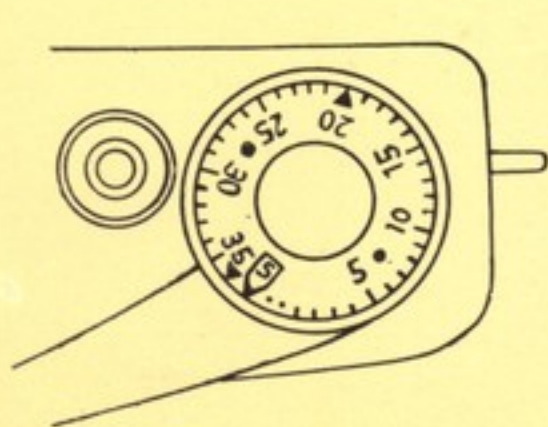


フィルム枚数計のS印を指標に
合わせる

フィルム枚数計のポッチに爪を
かけて時計の方向に回わし、S印
(スタートマーク)を赤点の指標
に合わせます。

空写しを2回行う

フィルム巻上げレバーを巻いて
シャッターを切る操作を2回くり
返し、撮影直前に3回目の巻上げ
をします。あとはシャッターを切
るだけで1枚目の撮影ができます。



フィルム装てん上のご注意

- ベトリタッチは、20枚撮りま
たは36枚撮りのパトローネ入
り35ミリフィルムを使用しま
す。
- フィルムの装てんは直射日光
をさけて、必ず日陰で行うよ
うにしましょう。
- 裏蓋を閉じてレバーを巻上げ
る際、巻戻しクランクが逆の
方向に回っていれば、フィル
ムが正しく巻上げられている
と判断されます。巻上げがか
たかったり、巻戻しクランク
が逆方向に回らないときは、
装てんのやり直しをしてくだ
さい。

撮影までの順序

- ① レンズキャップをとりはずします。
- ② 巻上げレバーでフィルムを送ります。
- ③ シャッター速度を適当にきめます。
- ④ 絞りを適度に絞り適正露出にします。
- ⑤ 連動距離計でピントを合わせます。
- ⑥ ブライトフレームで構図をきめます。
- ⑦ シャッターボタンを静かに押します。

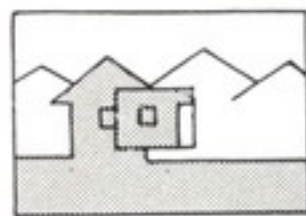
③と④は順序を入れかえる場合もあります。

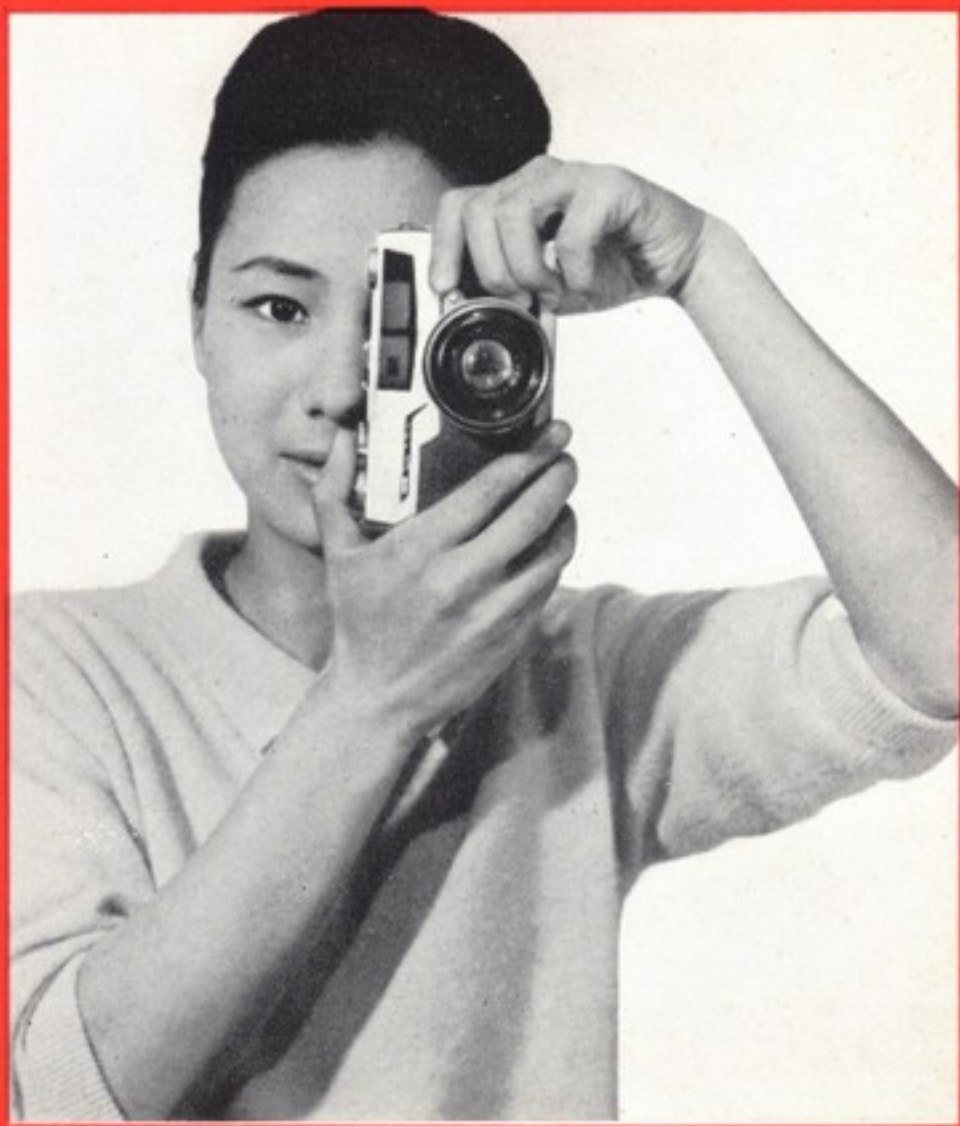
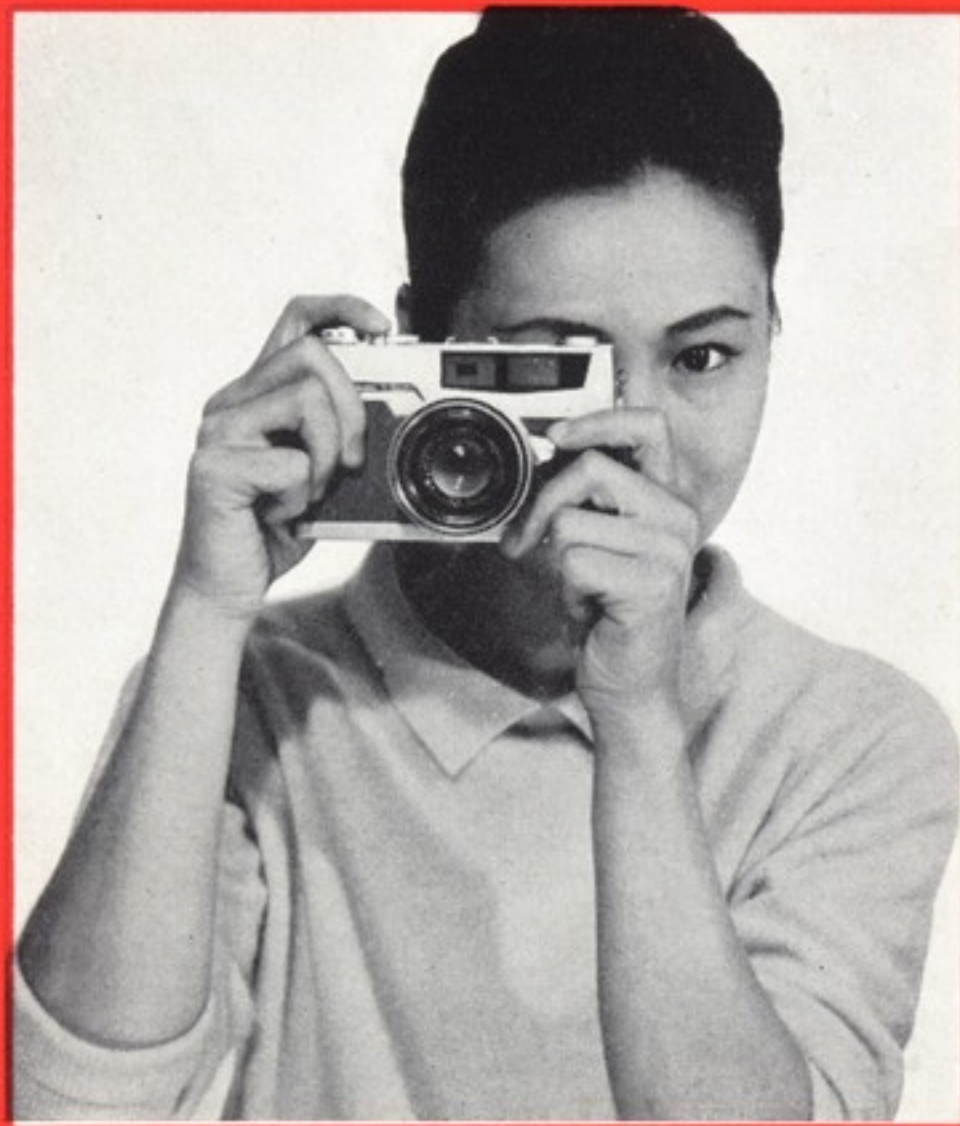


1 秒 ~ 1/500 秒



F2.8 ~ F16





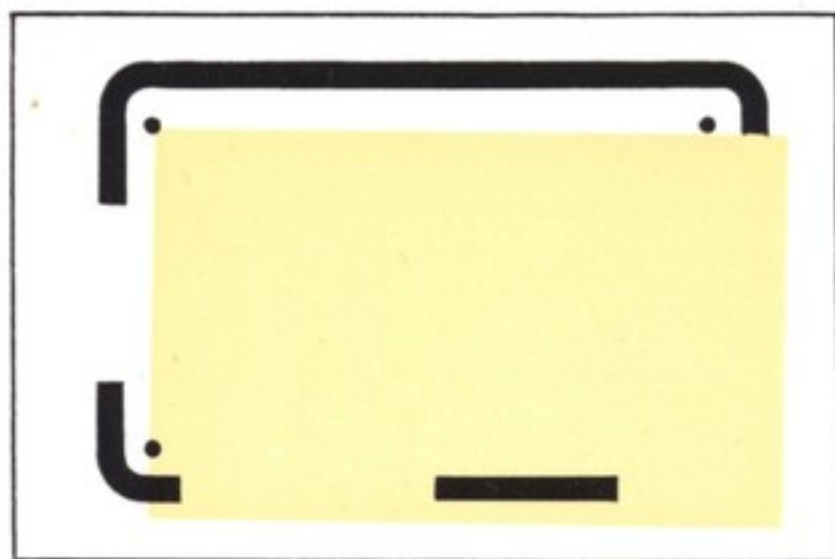


構え方

両手でしっかりカメラを持ち、カメラの背部を鼻やひたいにピッタリつけて構えます。両ひじは軽く体につけるようにした方が安定します。

シャッターボタンの押し方

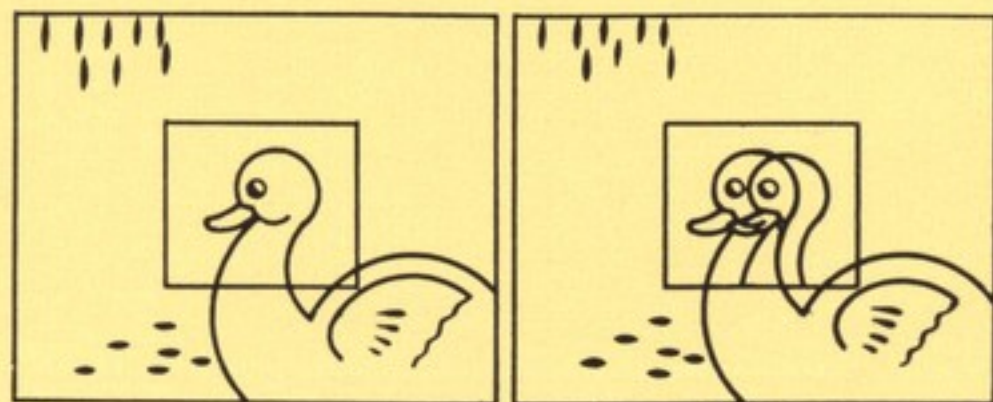
人差指の腹で静かに押してゆきます。シャッターを切る瞬間にカメラをブラさないように、十分練習いたしましょう。連続的にスナップ撮影したいときには、構えたままの体勢でフィルム巻上げレバーを操作し、直ちに次の撮影に移ることができます。



ファインダーののぞき方

アイピースからファインダーをのぞくと、視野内に金色の明るいフレームが見えますがこの枠内が実際に写る範囲です。ただし至近距離では枠内に見える点の位置まで実画面がズレますから、上図の黄色の範囲を標準に構図をきめてください。

ピントの合わせ方



ピントの合ったとき

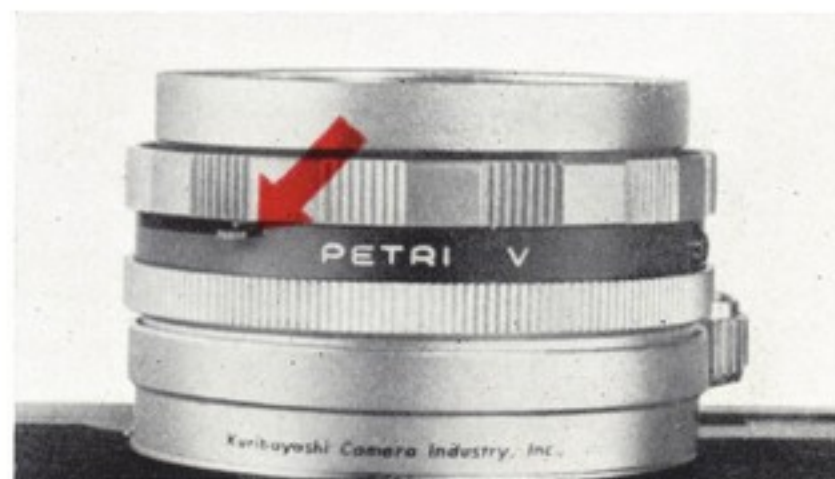
ピントの合わないとき

ファインダーをのぞきながらフォーカシングレバーを動かしますと、ファインダー視野の中央に見える四角い窓の二重像の一方が動きます。この二重像を完全に合致させれば、ピントが合ったこととなります。

セルフタイマーの使い方

セルフタイマーレバーを止まるまで引いてセットし、シャッターボタンを押せば約8秒後にシャッターが切れます。

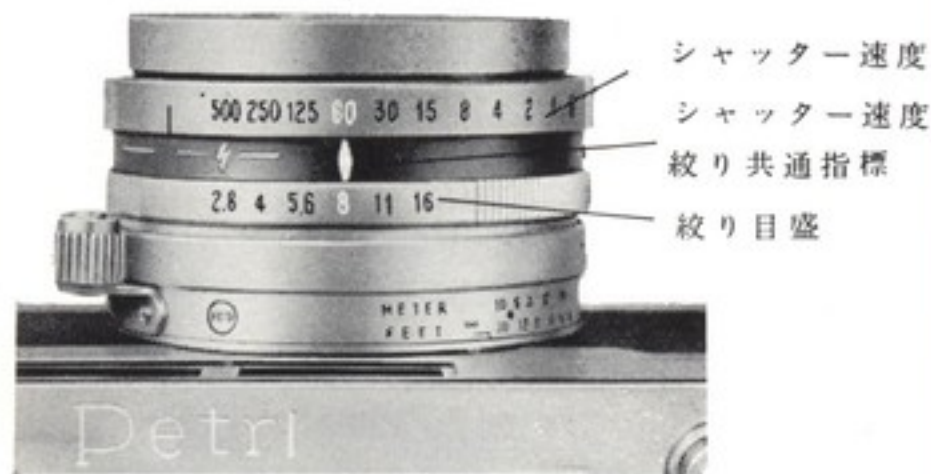
- セットはフィルムを巻上げる前でも後でも構いません。
- 各速度に使えますが、B（バルブ）には使えません。



露出のきめ方

露出は絞りとシャッター速度の組合せによってきまります。それぞれのリングを回して、希望する絞りと速度をシャッター速度・絞り共通指標に合わせればよいのです。

露出は右の露出表を標準にきめてくださればOKです。



四季の露出表 晴天・太陽光下・順光線の場合

被写体 季節	海岸・山岳 雪景	広い風景 明るい近景	戸外人物 スナップ	人物近写 動・植物
春(9~3時)	F 1 6	F 1 1	F 8	F 4
夏(9~4時)	F 1 6*	F 1 6	F 1 1	F 5.6
秋(9~3時)	F 1 6	F 1 1	F 8	F 4
冬(10~3時)	F 1 1	F 8	F 5.6	F 2.8

*印はY 2 フィルターをかけた場合です。

シャッター速度 ASA 50のS級フィルム…… $\frac{1}{125}$ 秒

ASA 100のSS級フィルム…… $\frac{1}{250}$ 秒

ASA 200のSSS級フィルム…… $\frac{1}{500}$ 秒

(朝夕は2倍、日蔭は4~8倍、薄曇は2倍、本曇は4倍、フィルター使用時はその倍数をかけて下さい。)

カラーの露出表 晴天・太陽光下・順光線

被写体	シャッター速度	感光度 ASA 50 $\frac{1}{60}$ 秒	感光度 ASA 10 $\frac{1}{60}$ 秒
明るい被写体		F 1 6	F 8
普通の被写体		F 1 1	F 5.6
暗い被写体		F 8	F 4

この表は日の出2時間後から日没2時間前までに適用します。春、秋が標準ですから夏期は半絞りしほり、冬期は半絞り開けてください。薄日は2倍、薄曇は4倍。

フラッシュ同調範囲 (1 ~ 1/30秒)

ストロボ同調範囲 (1/60 ~ 1/500秒)



フラッシュガン (発光器) のコードをシンクロターミナルにさしこみ、閃光電球をつけてシャッターを切れば、シャッターの開口と同時に電球が発光して暗い場所でも明るい写真が写せます。

閃光電球にはいろいろな種類がありますがペトリタッチの接点はX接点ですから、これに合ったF級の閃光電球をえらぶか、あるいはストロボを用いた方が便利です。

フラッシュ同調表

閃光電球の種類	X 接点
M 級	1/30秒まで同調
F 級	1/60秒まで同調
ストロボ	全速度に同調

被写界深度とその利用法

ある1点にピントを合わせたとき、その前後に実用上シャープに写る範囲があります。これを被写界深度といいます。

被写界深度は次の条件によって変わります。

- ①一定の距離では絞りを小さく絞るほど深くなります。
- ②一定の絞りでは距離が遠くなるほど深くなります。
- ③レンズの焦点距離が短いほど深くなります。

- ポートレートなどでバックをわざとぼかしたいときには深度表により、バックが深度外になる絞りのF値を求めます。
- 集合人物などですべての人をシャープに写したいときには、深度表により、前列、後列の人がすべて深度内に入る絞りのF値を求めます。

ベトリ F 2.8 45mm 被写界深度表

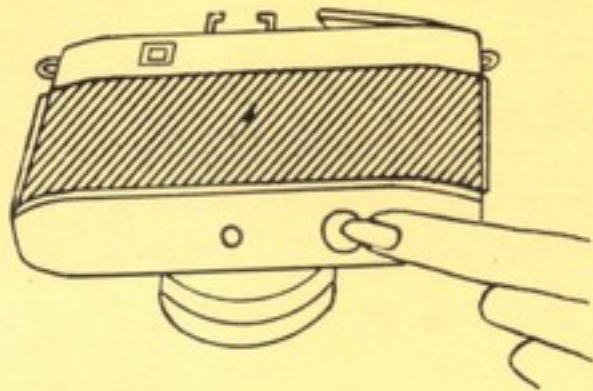
(メートル)

距離 \ F No.	2.8	4	5.6	8	11	16
0.8	0.77 0.83	0.76 0.84	0.75 0.86	0.73 0.89	0.70 0.93	0.66 1.01
0.9	0.87 0.94	0.85 0.96	0.83 0.98	0.88 1.09	0.78 1.07	0.73 1.17
1	0.96 1.05	0.93 1.07	0.91 1.10	0.89 1.15	0.85 1.22	0.80 1.35
1.2	1.14 1.27	1.11 1.30	1.08 1.35	1.04 1.42	0.99 1.53	0.91 1.75
1.5	1.40 1.61	1.37 1.66	1.32 1.74	1.25 1.87	1.18 2.06	1.08 2.48
2	1.83 2.20	1.77 2.31	1.69 2.46	1.58 2.72	1.47 3.15	1.31 4.25
3	2.63 3.48	2.50 3.75	2.34 4.16	2.14 5.00	1.93 6.67	1.67 15.04
5	4.05 6.54	3.74 7.52	3.40 9.43	2.99 15.19	2.60 64.52	2.13 ∞
10	6.79 18.94	5.97 30.68	5.14 ∞	4.26 ∞	3.50 ∞	2.71 ∞
∞	21.10 ∞	14.77 ∞	10.55 ∞	7.38 ∞	5.37 ∞	3.69 ∞

フィルム の 出し方

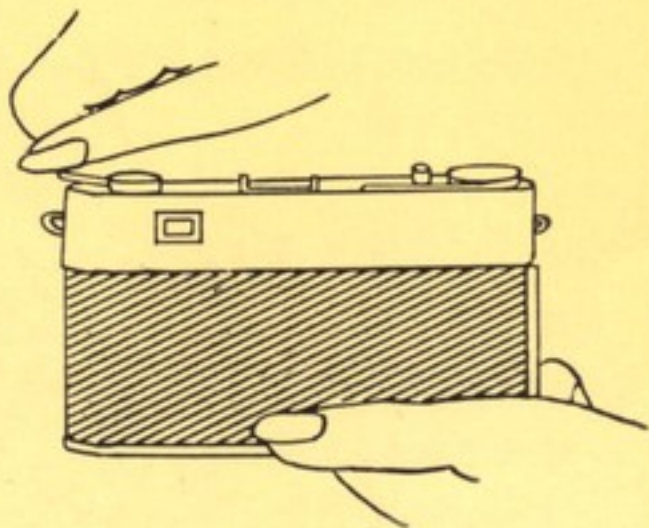
リターンボタンを押す

フィルムを全部撮影し終わったら、もとのパトローネに巻き戻さなければなりません。まず、カメラ底部にあるリターンボタンを押します。



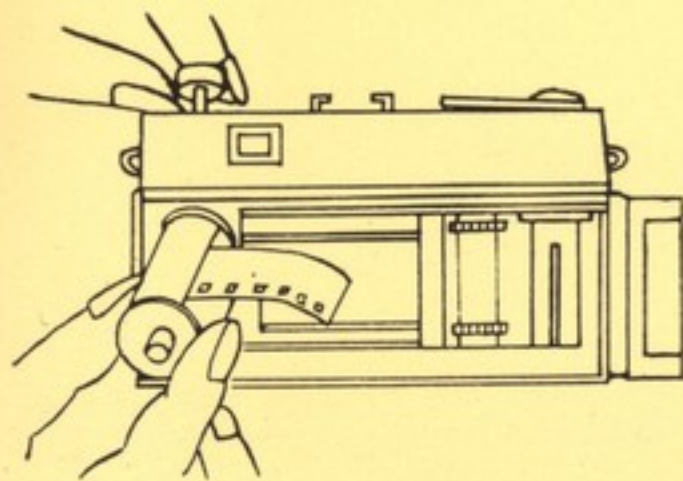
巻戻しクランクを起こして回す

リターンボタンを押したまま、巻戻しクランクを起こして矢印の方向に回します。これでフィルムがパトローネに巻き戻されてゆきます。



フィルムを取り出す

巻戻しの手ごたえが急に軽くなったら、完全に巻き戻されたと判断されますから、裏蓋を開き、巻戻しクランクを引き出して、フィルムを取り出します。



ベトリフード



スマートな丸型、止ネジ式専用フードで内面反射防止は完ぺきです。美しい皮ケースにおさめられています。

ベトリフィルター



UV：紫外線カット用（無色）
Y1、Y2：戸外人物、風景撮影用（黄色系）
YA3：遠景のコントラストをつける（橙色）
R1：赤外撮影用（赤色）
NDX4：感色性に関係なく露出倍数4倍。
カラー用：W4（温調用）C4（冷調用）
C8（閃光撮影用）C12（写真電球用）

ベトリAUXレンズ



レンズの前面に取り付けて望遠および広角の効果をもつ補助レンズです。望遠用、広角用、望遠広角兼用ファインダーがセットとなって発売されています。

ベリメーター



反射光式の小型電気露出計でアクセサリシューに取付けたまま使用できます。直読式ですから、使用フィルムのASA感度とシャッター速度をきめておけば、直ちに適正絞りが求められます。

PETRI PETRI PETRI PETRI
PETRI PETRI
PETRI PETRI JAPAN
PETRI PETRI



ペトリカメラ東京センター 東京都千代田区九段2-5

ペトリカメラ大阪センター 大阪市南区鰻谷西ノ町11-4

栗林写真工業株式会社

東京・ニューヨーク・カナダ・オランダ

